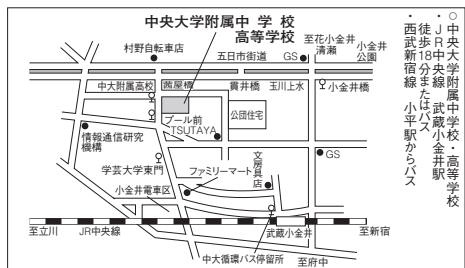


中央大学附属高等学校

〒184-8575 東京都小金井市貫井北町3-22-1 ☎042-381-5413 学校長 石田 雄一



(1号館の外観)

〈URL〉 <https://www.hs.chuo-u.ac.jp/>

沿革 明治42年(1909)前身の目白中学校創立。昭和10年(1935)杉並区に移転し杉並中学校と改称。同23年学制改革により杉並高等学校となり、同27年学校法人中央大学に合併、中央大学杉並高等学校と改称。同38年現在地に移転、中央大学附属高等学校と改称しました。平成13年(2001)男女共学となり、平成22年(2010)中学校が開校。

校風・教育方針

中央大学は「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神で、実学の探究を大事にしてきました。実学とは単なる理論の先行ではなく、実社会において本当に役立つ学問を意味します。この伝統は附属中高においても継承されています。中高大の一貫教育だからこそ、受験勉強にとらわれない、将来の生徒にとって本当に力となる学力、教養、ものの考え方の追求が可能です。中高ともに、知的好奇心を喚起する数々の独自科目を設けています。

また、自主・自治・自律の精神を重んじ、他人任せではなく、まず自分自身で考え行動し、責任を取ることが求められます。この点を尊重するうえで、高校では校則らしい校則もない自由な校風の学校です。

カリキュラムの特色

本当に必要な知識、学力、ものの見方とは何か、という視点でカリキュラムが編成されています。中学では年間十数回、4時間目にスクールランチという五感を使って学んで食べる食育の授業や、法科大学院との連携で教授から授業を受け、大学

今年に進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください

院生とともに事件の有罪か無罪かを討論する法教育の授業を実施。高校では、教養総合という独自の選択必修科目があり、興味関心のある科目を生徒自身が選びます。例えば「マレーシア・ボルネオのジャングル自然調査」であれば、年間を通じて多角的に授業を行い、秋にはフィールドワークでボルネオ島に出向きます。帰国後も学習を続け、その成果をまとめて全校を挙げての発表会に臨みます。高3では卒論の作成も行います。通常の授業とは別に、ネイティブの先生と実学的英語力を養うProject in Englishや、学際的に科学を学び理工学部とも連携する特別科目もあります。2018年度に理数教育の先進性や大学との連携、独自の授業展開が評価され、文部科学省よりスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)の指定を受け、2023年度より第II期の5年間をスタートしました。

環境・施設設備

JR武蔵小金井駅の北西方、玉川上水沿いの閑静な絶好地に位置し、約5万㎡の敷地を誇ります。

7階建て免震構造の1号館は、物理・化学・生物の実験室、コンピュータ教室、LL教室等の各種特別教室のほか、多目的ホール・生徒ホールなども設けられ、教育環境を一段と高めています。日本図書館協会建築賞を受賞した図書館棟(3号館)は、地下部分をもつ3層構造の独立した建物で蔵書数は約20万冊。高校図書館としては最大級の規模といえます。

講堂・第一体育館(4号館)は、地下1階から

地上1階部分にかけてが約1,600人収容の講堂、2・3階部分がバスケットボールの公式試合に対応した本格的な体育館です。2010年には、地下1階地上5階の中学校校舎が完成しました。

生活指導・心の教育

生徒の自主・自治・自律に基盤において学校が運営されています。例えば、高校では制服がなく、生徒自身に服装を判断させています。自分で善し悪しを考え判断し、自分の責任において行動ができるように、また義務教育である中学では、集団生活を送る上での必要なマナー、ルールについて指導をしています。

自己形成の糧となる真に価値あるものを発見する機会として、古典芸能・演劇鑑賞会、コンサート、講演会などを毎年各学年で開催しています。

学校行事・クラブ活動

新入生が中大附属生としての自覚を深めるオリエンテーション旅行や体育祭をはじめ、白門祭(文化祭)、芸術祭、教養総合成果発表会などの学校行事が実施されています。

クラブ活動は非常に盛んで、運動・文化部合わせて中学18、高校28の団体があり、約90%の生徒が加入しています。最近の実績では、生物部が全日本オリエンタリング選手権大会ミドル・ディスタンス部門優勝、ライフル射撃部が全日本高校生ピストル選手権大会出場、国体代表、ソングリーディング部はUSA Nationalsチアリーディング&ダンス学生選手権大会2位、マンドリン部は全国ギター・マンドリン音楽コンクールで優秀賞を受賞しました。

データファイル

2024年度入試日程

中学校

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
1回 約100	1/10~1/24	2/1	2/2	2/3
2回 約50	1/10~2/3	2/4	2/5	2/6
帰国生 若干	12/8~12/13	1/8	1/9	1/10

高等学校

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
推薦 約80	1/15~1/17	1/22	1/23	1/24
一般 約120	1/25~2/4	2/10	2/11	2/12
帰国生 若干	12/8~12/13	1/8	1/9	1/10

2024年度選考方法・入試科目

中学校

国語、算数、理科、社会
〈配点・時間〉国・算=各100点50分 理・社=各60点30分

帰国生：国語・算数(各100点60分)

高等学校

推薦：書類審査、基礎学力試験(英語と数学各60点30分)、小論文(600字60分) *2023年度課題：「励まし言葉」という問題【出願条件】内申 9教科の5段階評定に1、2がないこと
一般：国語、数学、英語(リスニングあり)
〈配点・時間〉国・数・英=各100点60分

帰国生：国・数・英(各100点60分、英はリスニングあり)
〈面接〉なし

2023年春併設大学への進学

例年大学より卒業予定者の約91%の推薦枠提示があり、今春の卒業者のうち約83%が中央大学に進学しました。※他大学併願受験制度があります。
中央大学-315(法102、経済54、商63、理工27、文30、総合政策22、国際経営8、国際情報9)

2023年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
378人	363人	0人	1人	0人	0人	14人

2023年度入試結果

中学校 男/女

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
1回 約100	227/257	195/239	69/67	2.8/3.6
2回 約50	268/415	206/336	49/42	4.2/8.0
帰国 若干	19/16	17/15	4/6	4.3/2.5

高等学校 男/女

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
推薦 約80	156/207	155/207	41/58	3.8/3.6
一般 約120	495/413	465/407	136/104	3.4/3.9
帰国 若干	48/43	46/39	22/8	2.1/4.9

〔学校説明会〕生徒・保護者対象、要予約

★中学校 9/9 11/4

★高等学校 10/21 12/2

〔見学できる行事〕

文化祭 9/23・9/24(公開未定)

教養総合成果発表会(SSH成果発表会)(要予約) 2/14

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください